

平成30年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 友達への思いやり	3 道徳・心の教育の充実
<p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<p>子どもは、友達となかよくしていますか。</p>	<p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
<p>【学校から】○一人一人の児童生徒の尊重については、昨年度と比較すると子どもや保護者の回答に変化はみられないが、教職員の肯定的な回答が20%ほど減っているため、子どもを大切に指導対応し、教師の思いが子どもに伝わるように頑張りたい。○友達への思いやりについては、児童・教職員ともに90%以上が思いやりの心が育っていると感じているが、保護者の中に「そう思わない」という回答があるので学校と家庭の連携においてよりいっそうの強化を図っていく必要がある。○道徳・心の教育の充実については昨年度に比べて保護者、教職員ともに「そう思う」の割合が減っている。道徳の教科化に伴い、教職員の授業充実の必要性を感じることでより割合がへったのではないかと考える。今後も様々なテーマで「親子道徳の日」を継続していくと共に、学校全体で豊かな人間性を育む心の教育に努めていきたい。</p>		

②確かな学力を育む教育の推進

4 意欲的な学習態度	5 授業力向上	6 ICT活用
<p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○意欲的な学習態度については、昨年度と比較して保護者、児童の「そう思う」の割合はほぼ同じであるが、教職員は低くなっている。これは、校内研修等で教職員の意識が高まり、児童の学習意欲に関して「話し合い」の場面で、意見をもっていないもなかなか発言できない児童の存在など現状をしっかりとみつけていることが考えられる。○授業力向上については昨年と比較して保護者、児童、教職員の「そう思う」の割合はほぼ同じである。保護者、児童の「そう思わない」の割合は減った。校内研修を通して授業改善を行っている成果が表れてきている。○ICT活用については、タブレットや電子黒板の導入により、教職員と児童の使用頻度が増し、保護者にもICT普及の効果が反映されている。今後のICT機器の進化に伴い、研修を行うなどして教職員のICT機器活用のスキルを上げていきたい。</p>		

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり
<p>子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>
<p>【学校から】○昨年と比較すると児童の「そう思う」の割合が低くなっている。その要因として、2学期に学校保健委員会を行い、児童が自分自身の生活をしっかりとみつけた結果、自己評価が厳しくなったのではないかと考える。今後は児童が自己決定した行動目標を達成できるように指導を継続していきたい。食に関しては好き嫌いをなく食事をすることができる児童とそうでない児童の2極化が見られ課題である。今後は給食週間や食育月間等に指導の充実と行い食への関心を高めていきたい。</p>

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

8 児童生徒理解	9 いじめや問題への対応	②特別支援教育の推進
<p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>	<p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】○いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実については、昨年度と比較すると保護者・児童・教職員ともに「そう思う」が減少傾向にある。子どものよさを見つけることができているが、なかなか直接その言葉を伝えていなかったり、学級通信等を使っての報告ができていなかったりしている。子どもたちのよさに気づき広めていけるようにしていきたい。○学校の支援体制については、昨年度と比較すると「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合は校内で特別支援教育の研修会を行ったり、今後も更に家庭や専門機関との連携を図る等支援体制の充実に努めていきたい。</p>		

①子どもたちの身近な安全対策の充実

②最適な学習環境の整備

11 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

対象者	「そう思う」	「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」
保護者	85%	10%	5%
児童	75%	15%	10%
教職員	95%	5%	0%

【学校から】○非難訓練や下校訓練は計画通りに行ったが、新しい取り組みがなかったためか、昨年度に比べて教職員の「そう思う」の割合が減少した。今年度の反省を活かしていくことで安全対策の充実を図りたい。また児童に対しては廊下歩行や登下校など身近な安全対策について指導を継続していきたい。

12 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

対象者	「そう思う」	「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」
保護者	85%	10%	5%
児童	75%	15%	10%
教職員	95%	5%	0%

【学校から】○毎月の安全点検での危険箇所への迅速な対応や廊下の棚作成と整理整頓等学習環境の整備を行った。その結果教職員の「そう思う」の割合が増えた。今後も整備を推進していきたい。

13 教育方針・目標の理解

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

対象者	「そう思う」	「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」
保護者	85%	10%	5%
児童	75%	15%	10%
教職員	95%	5%	0%

【学校から】○保護者・児童の回答の傾向は、昨年度とあまり変わらず、教職員は「そう思う」の割合が増えている。しかしながら保護者・児童の中に「そう思わない」の意見もわずかなが見られる。校内では、全校朝会での生活目標や重点目標の話や教室掲示、朝の校内放送での生活訓「かわかみっこ」の徹底を継続し、さらに理解を得られるために学級・学校だより、PTA新聞、地域広報誌、諸団体会合などあらゆる機会を通して情報発信を行う。○保護者の回答の傾向は、昨年度とあまり変わらないが、教職員は全職員が「そう思う」と回答している。各学年の教育活動において地域を題材とした学習内容を設定したりサマースクールを実施したりすることで地域や家庭との連携協力が推進されている。さらには、学びの発表の場として地域行事に参加することで職員の参加や協力が増えている。今後も取り組みを継続し開かれた学校づくりを推進していく。

14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

対象者	「そう思う」	「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」
保護者	85%	10%	5%
児童	75%	15%	10%
教職員	95%	5%	0%

◎生活訓「かわかみっこ」について毎朝の校内放送で生活訓「かわかみっこ」の曲を流し児童の意識を高めており、「自分からあいさつすること」「進んでそうすること」「きまりを守ること」「きちんとした服装で生活すること」などを指導目標として取り組んでいる。
○「か」わすあいさつ 評価15を参照
○「わ」ずかな時間も大切に 児童の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が95%ととても高い。
○「か」たづけ上手な 児童の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が90%ととても高く昨年度より8%高くなっている。
○「み」んなでそうじをがんばって 児童の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が94%ととても高い。
○「つ」づけます毎日の勉強 児童の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答が77%と昨年と比べて8%低くなっている。今後は家庭と連携し、進んで学習に取り組めるような環境や時間の使い方を身につけさせていく必要がある。
○「こ」まった人を見つけたらほうっておけない 評価2を参照

15 1あいさつ

子どもはきちんとあいさつができていますか。

対象者	「そう思う」	「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」
保護者	85%	10%	5%
児童	75%	15%	10%
教職員	95%	5%	0%

【学校から】○あいさつについては、昨年と比べ児童の「そう思う」の割合が10%ほど下がっている。朝、正門での様子を見てしっかりと挨拶してくれる子どもが多い一方、なかなか挨拶の声が出ない子どももいる。元気よく一日がはじめられるように、挨拶の習慣をつけていきたい。○きまり、マナーについては、昨年度と比べ児童と職員の「そう思う」の割合が10%ほど下がっている。廊下歩行や外庭での遊び方に今年度課題が見られた。なぜ、学校の決まりがあるのかを理解させ、行動に移せる子どもたちを育てていく必要がある○外遊び、スポーツについては昨年度と比べて児童・教職員の肯定的に捉える回答が増えている。今年度から週に2回程度業間に「スポーツタイム」行い、外遊びの奨励を図ってきた。今年度も継続して運動に親しむ児童を増やしていきたい。

16 2きまり、マナー

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。

対象者	「そう思う」	「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」
保護者	85%	10%	5%
児童	75%	15%	10%
教職員	95%	5%	0%

17 3外遊び、スポーツ

子どもは、進んで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

対象者	「そう思う」	「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」
保護者	85%	10%	5%
児童	75%	15%	10%
教職員	95%	5%	0%